

J.LEAGUETM NEWS

チカラをひとつに。 - TEAM AS ONE -



東日本大震災被害からの復興に向けて

東日本大震災により、多くの尊い命が失われたことに謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された方々に対し心よりお見舞い申し上げます。

JリーグとJクラブはこのたびの震災への救援・復興支援に対し、「チカラをひとつに。- TEAM AS ONE -」をスローガンとして活動を行っております。このスローガンには、J38クラブ、選手、ファン・サポーター、被災地の復興を願う全ての人々の力を結集して、みんなでひとつのチームとして団結し、前に進んでいこうという思いが込められています。

3月29日に行われた「東北地方太平洋沖地震復興支援チャリティーマッチ がんばろうニッポン！」におけるチーム名も、「Jリーグ TEAM AS ONE」と名付けました。

この試合のチーム編成をするに当たり、我々の参加の依頼に対して、全ての選手が即断即決で参加の意思を申し出てくれました。被災地であるベガルタ仙台や鹿島アントラーズからも選手が参加しました。この試合の意味を心から理解し、快く参加の意思を示してくれた選手たちを誇りに思います。併せて、当日は、Jリーグ選手OB会をはじめ、多くのサッカーファミリーの方々が募金活動に参加してくれたことにも感謝しております。

各Jクラブはチャリティーマッチの開催、募金活動など、さまざまな形で被災地への支援に取り組んでいます。今後は28都道府県38クラブのJリーグに関わる全ての方々の力を一つにして、支援の輪を大きくし、継続的な活動を行っていきたいと思います。

Jリーグは4月23日より再開します。選手たちの全力を尽くしたプレーが、少しでも被災地の復興に向けた力になることを祈っています。Jリーグを愛するファン・サポーターの皆さまのスタジアムへのご来場を、心よりお待ちしております。

Jリーグチェアマン 大東和美

復興へ向けてチカラをひとつに。

東北地方太平洋沖地震復興支援チャリティーマッチ
がんばろうニッポン!

2011年3月29日 19:26キックオフ 大阪長居スタジアム 【入場者数】4万613人
SAMURAI BLUE(日本代表) 2 1 Jリーグ TEAM AS ONE

【得点経過】

15分 1-0 (S)遠藤 保仁
19分 2-0 (S)岡崎 慎司
82分 2-1 (J)三浦 知良

【主審】西村 雄一

【副審】相樂 亨／ジョン・ヘサン

【第4の審判員】平岡 亮



©J.LEAGUE PHOTOS

「東北地方太平洋沖地震復興支援チャリティーマッチ がんばろうニッポン!」が3月29日、大阪長居スタジアムで開催された。スタジアムには4万613人のファン・サポーターが足を運び、ピッチ上で全力のプレーを披露した選手たちと一体になって、地震の被害からの1日も早い復興を願い、被災地・被災者の方々にエールを送った。試合はSAMURAI BLUE(日本代表)がJリーグ選抜であるJリーグ TEAM AS ONEに2-1で勝利した。

キックオフ前には、両チームを代表してキャプテンのMF長谷部誠(日本代表)が「世界中の皆さんと一緒に、今度は僕たちが皆さんを応援する番」、DF中澤佑二(Jリーグ TEAM AS ONE)が「乗り越えられない困難など決していない」とあいさつ。地震の影響によって亡くなられた方々への黙と

うがさげられた。スタンドには復興を願うメッセージを記した横断幕やフラッグが数多く掲げられた。

試合は日本代表が15分、MF遠藤保仁が直接FKを見事に決めて先制。その4分後にはFW岡崎慎司が追加点を挙げた。後半はJリーグ TEAM AS ONEがペースをつかみ、最後まで諦めずに得点を狙い続けた。その姿勢が実ったのは82分、44歳のFW三浦知良が待望のゴール。地震の被害が大きかったベガルタ仙台から参加したMFの関口訓充、梁勇基も元気にプレーし、岩手県出身のMF小笠原満男も奮闘した。

Jリーグ TEAM AS ONEを率いたストイコビッチ監督は「選手たちは全員が気持ちを込めてプレーした。被災した人々に対して、わたしたちはみんな一緒に、団結しているんだと伝え、それが世界中に伝わったと思う」と、この試合の成果を強調した。また、Jリーグ TEAM AS ONEの得点を決めた三浦は「これからも(復興支援活動を)継続的にやっていかないとけない。これが本当のスタート」と、決意を新たにした。



©J.LEAGUE PHOTOS

Jリーグ TEAM AS ONEの得点を決める「カズ」こと三浦(左)



震災の被害が大きかった仙台、鹿島、水戸にエールを送る横断幕



©J.LEAGUE PHOTOS

宮城県出身の今野(中央)と岩手県出身の小笠原(右)



©J.LEAGUE PHOTOS

募金活動を行ったJリーグの大東チェアマンとJリーグ選手OB

がんばろうニッポン!

サッカーファミリーのチカラをひとつに!

SAMURAI BLUE(日本代表)

監督 アルベルト・ザッケローニ

選手 GK 川島 永嗣(リールセSK/ベルギー)
東口 順昭(アルビレックス新潟)
西川 周作(サンフレッチェ広島)
DF 岩政 大樹(鹿島アントラーズ)
今野 泰幸(FC東京)
栗原 勇蔵(横浜F・マリノス)
伊野波 雅彦(鹿島アントラーズ)
森脇 良太(サンフレッチェ広島)
長友 佑都(インテル・ミラノ/イタリア)
横野 智章(1FCケルン/ドイツ)
内田 篤人(FC Schalke 04/ドイツ)
吉田 麻也(VVVフェンロ/オランダ)
MF 遠藤 保仁(ガンバ大阪)
阿部 勇樹(レスター・シティ/イングランド)
長谷部 誠(VfLヴォルフスブルグ/ドイツ)
本田 拓也(鹿島アントラーズ)
細貝 萌(FCアウクスブルグ/ドイツ)
柏木 陽介(浦和レッズ)
FW 松井 大輔(グルノーブル/フランス)
前田 遼一(ジュビロ磐田)
藤本 淳吾(名古屋グランパス)
李 忠成(サンフレッチェ広島)
岡崎 慎司(VfBシュトゥットガルト/ドイツ)
家長 昭博(RCDマジョルカ/スペイン)
本田 圭佑(CSKAモスクワ/ロシア)
乾 貴士(セレッソ大阪)

Jリーグ TEAM AS ONE

監督 ストイコビッチ(名古屋グランパス)

選手 GK 川口 能活(ジュビロ磐田)
植崎 正剛(名古屋グランパス)
DF 新井 陽 徹(鹿島アントラーズ)
小宮山 尊信(川崎フロンターレ)
中澤 佑二(横浜F・マリノス)
田中 マルクス・闘龍王(名古屋グランパス)
茂庭 照幸(セレッソ大阪)
MF 関口 訓充(ベガルタ仙台)
梁 勇基(ベガルタ仙台)
小笠原 満男(鹿島アントラーズ)
中村 憲剛(川崎フロンターレ)
中村 俊輔(横浜F・マリノス)
小野 伸二(清水エスパルス)
駒野 友一(ジュビロ磐田)
FW 原口 元気(浦和レッズ)
ハーファナー マイク(ヴァンフォーレ甲府)
平井 将生(ガンバ大阪)
大久保 嘉人(ヴィッセル神戸)
佐藤 寿人(サンフレッチェ広島)
三浦 知良(横浜FC)



チカラを
ひとつに。
-TEAM AS ONE-

J.LEAGUE

Jリーグ 東日本大震災 救援・復興支援スローガン

Jリーグは、東日本大震災への救援・復興支援を行うに当たり、「チカラをひとつに。-TEAM AS ONE-」をスローガンとして活動を行う。

このスローガンは、「Jリーグ」および「Jリーグの38クラブ」、「選手」、「ファン・サポーター」、「被災地復興を願う全ての人々」の力を結集し、みんなでひとつのチームとして団結し、前に進んで行こうという思いが込められている。

また、ロゴマークはその思いの象徴として、五つの「チカラ」が「ひとつ」に団結して支援の輪が広がっていく様子をイメージし、マーク化したもの。さらには、ひとつのボールのもとに、世界中(5大陸)の「仲間」が手を取り合う姿も意味している。すでに各クラブや選手などがスタートしている支援活動を、このスローガンのもとに、より一体となって進めていく。

～Jクラブも各地で慈善試合、復興支援活動を実施～

東日本大震災の被災地や被災者の支援を目的に、Jクラブも各地で選手が街頭で募金を呼び掛けたり、慈善試合(チャリティーマッチ)などを実施し、救援や復興を後押ししている。慈善試合の開催による収益金は、義援金として被災地に送られ、スタジアム内では試合の前後に、選手たちが来場者へ救援・復興活動への

協力を訴え、ファン・サポーターからのエールが記された横断幕なども掲げられた。また、選手たちが避難所を訪問し、不自由な生活を余儀なくされている子どもたちと遊んだり、サッカー教室を開くなど、積極的に交流している。チャリティーイベントやチャリティーグッズの販売、オークションなどを行っているクラブもある。

Jリーグもクラブの慈善試合開催の意向にスムーズな対応を行った。今回の非常事態に際しては、3月15日に開催されたJリーグ理事会で、特例措置として取り扱うことが決まり、申請手続きを簡略化し、Jリーグおよび日本サッカー協会のサポートによって10試合の慈善試合が実施された。



クラブハウスやホームスタジアムが被災した仙台も、選手やスタッフが救援活動に尽力。宮城県石巻市の避難所では、被災者のための物資運搬を行った ©ベガルタ仙台



浦和と大宮が避難所で行った「ハートフルサッカー」 ©J.SEIO



新潟でも選手、スタッフが協力して募金活動が行われた ©アルビレックス新潟



募金してくれた子どもに握手と笑顔で応える磐田の選手 ©ジュビロ磐田



全選手、スタッフが参加した大分の街頭募金活動 ©大分トリニータ



茨城県鉾田市の保育所では、鹿島の選手たちが子どもたちと触れ合った ©鹿島アントラーズ

IBARAKI
**WITH
HOPE**
we can cope

水戸、鹿島が茨城県サッカー協会とともに、茨城県復興支援の輪を広げることを目指して立ち上げた「WITH HOPEプロジェクト」のロゴ



水戸の選手たちは茨城県の支援物資拠点への搬入を手伝った ©水戸ホーリーホック



G大阪vs神戸の慈善試合で(万博記念競技場)



京都vsG大阪の慈善試合で(京都市西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場)



北九州vs鳥栖の慈善試合で(北九州市立本城陸上競技場)

2011 Jリーグ 再開後の日程について

Jリーグは4月1日に、同23日(土)～5月29日(日)までの期間に開催するリーグ戦の全7節について、東日本大震災の影響によるキックオフ時刻、開催スタジアムなどの変更、さらに2011 Jリーグヤマザキナビスコカップ開催概要(改訂版)および開催日を発表した。同震災の影響によって中止となったJ1の第2～6節、J2の第2～7節の代替日程と併せ、詳しい情報はJリーグ公式ホームページ(<http://www.j-league.or.jp>)で閲覧できる。(以下の情報は4月8日時点)

2011 J.LEAGUE J1・J2リーグ戦

■再開にあたっての取り扱い

- (1) 4月中の東北・東京電力管内における全試合については、キックオフ時刻を14時以前に変更した。
- (2) 5月中の東北・東京電力管内における全試合については、キックオフ時刻を16時以前に変更し、ナイトゲームを行わないこととした。
※ Jリーグにおける「ナイトゲーム」の定義: 18時以降にプレーすること
- (3) 被災クラブ(ベガルタ仙台、鹿島アントラーズ、水戸ホーリーホック)のホームゲームについて

【仙台】

東日本大震災の影響により、ホームスタジアム(ユアテックスタジアム仙台)に一部損壊は見られるが、試合開催は可能。ただし、観客エリアを一部変更して使用する予定。また、同じくホームゲームで使用予定だった宮城スタジアムは、現在震災による救援拠点施設となっており、宮城県総合運動公園内の全施設の利用を暫定的に停止中。

【鹿島】

同震災の影響により、ホームスタジアム(県立カシマサッカースタジアム)は試合開催不可。

第7節 対横浜F・マリノス戦は、代替スタジアムとして国立競技場をホーム扱いとして使用する。

第12節 対浦和レッズ戦は、代替スタジアムでの開催を検討したが調整がつかなかったため、ホームクラブである鹿島からの要請を受け、ビジタークラブである浦和の了承のもとホームとアウェイの入れ替えを決定した。これに伴い、第27節は鹿島対浦和(ホームとアウェイの入れ替え/会場未定)とする。

【水戸】

同震災の影響により、ホームスタジアム(ケーズデンキスタジアム水戸)に一部損壊は見られるが、試合開催は可能。ただし、観客エリアを一部制限して使用する予定。

2011 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ

東日本大震災の影響により、「2011 Jリーグヤマザキナビスコカップ」の大会方式を変更し、新たな大会方式を決定した。

■変更に至った経緯

当初予定されていた2011 Jリーグヤマザキナビスコカップ 予選リーグ第1～4節(3月16日～4月20日)を東日本大震災の影響により中止としたため、2011シーズンのスケジュールにおいて現行の大会方式の実施は困難と判断し、予選リーグおよび決勝トーナメントからなる大会方式から、トーナメント方式に変更した。

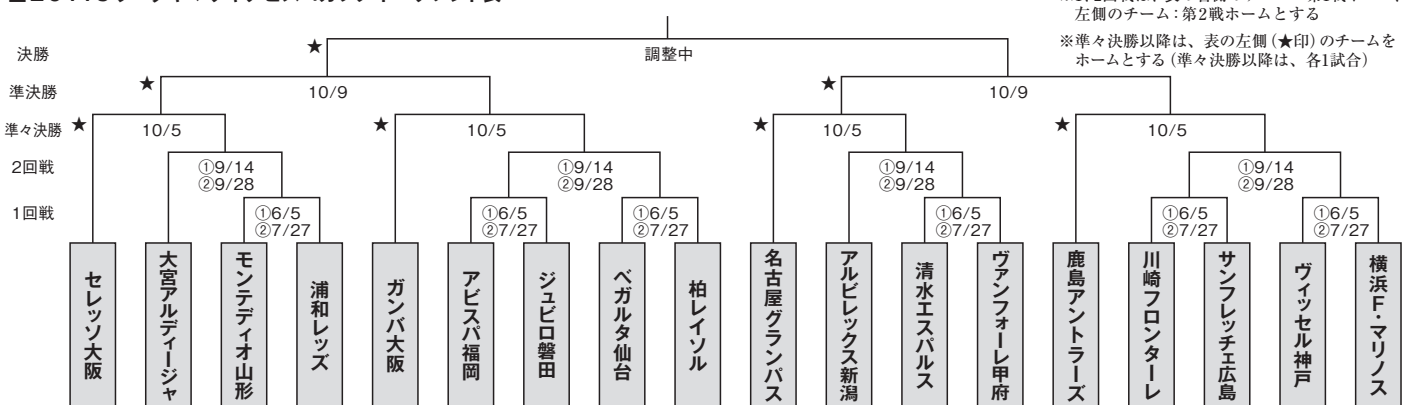
■大会方式について

変更前	【予選リーグ】1回戦総当たりのリーグ戦 【決勝トーナメント】8チームでのホーム&アウェイ方式のトーナメント戦
	AFCチャンピオンズリーグ2011(ACL)に出場する4チーム(鹿島アントラーズ、名古屋グランパス、ガンバ大阪、セレッソ大阪)を除く14チームを2グループに分け、各グループで1回戦総当たりのリーグ戦(予選リーグ)を行う。 ※予選リーグ各グループの組み合わせは、2010シーズンJ1リーグ戦順位をもとに決定する。 決勝トーナメントは、予選リーグ各グループ上位2チームおよび、鹿島、名古屋、G大阪、C大阪(合計8チーム)によりホーム&アウェイ方式のトーナメント戦を行う。 ※決勝トーナメントの組み合わせは、予選リーグ終了後に抽選で決定する。
変更後	1回戦、2回戦はホーム&アウェイ方式、準々決勝以降は1試合制のトーナメント方式にて行う。 鹿島、名古屋、G大阪、C大阪は、ACLに出場するため、1回戦、2回戦はシードされ、準々決勝からの出場となる。 ※トーナメントの組み合わせは、ACL出場4クラブ間、その他の14クラブ間にて抽選によって決定する。

■その他

2011 Jリーグヤマザキナビスコカップ スペシャルイベント「ナビスコキッズイレブン クラブといっしょに ファイナルを目指そう!!」および23歳以下の選手を対象に今大会で最も活躍が顕著だった選手を表彰する「ニューヒーロー賞」は、予定どおり実施する。概要の変更など、詳細が決定次第、あらためてお知らせする予定。

■2011 Jリーグヤマザキナビスコカップ トーナメント表



■2011 Jリーグヤマザキナビスコカップ 試合日程

回戦	開催日	キックオフ	対戦カード	スタジアム
1回戦 第1戦	6月5日(日)	15:00	浦和レッズ vs モンテディオ山形	埼玉
		15:00	ジュビロ磐田 vs アビスパ福岡	ヤマハ
		15:00	柏レイソル vs ベガルタ仙台	柏
		15:00	ヴァンフォーレ甲府 vs 清水エスパルス	中銀スタ
		15:00	サンフレッチェ広島 vs 川崎フロンターレ	広島ビ
		15:00	横浜F・マリノス vs ヴィッセル神戸	ニッパ球
回戦	開催日	キックオフ	対戦カード	スタジアム
1回戦 第2戦	7月27日(水)	19:00	モンテディオ山形 vs 浦和レッズ	NDスタ
		19:00	アビスパ福岡 vs ジュビロ磐田	レバスタ
		19:00	ベガルタ仙台 vs 柏レイソル	ユアスタ
		19:00	清水エスパルス vs ヴァンフォーレ甲府	アウスタ
		19:00	川崎フロンターレ vs サンフレッチェ広島	等々力
		19:00	ヴィッセル神戸 vs 横浜F・マリノス	ホームズ

※キックオフ時刻は、今後の電力事情により変更する場合がある。

■2回戦
第1戦: 9月14日(水)
第2戦: 9月28日(水)
■準々決勝
10月5日(水)
■準決勝
10月9日(日)
■決勝
調整中



「Jリーグニュース」は100%再生紙を使用しています。